

様式第26号

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

石川県知事 殿

年 月 日

申請者 氏名

下記のとおり農地を転用したいので、農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

記

1 申請者の住所等	住 所								職 業		
	都道府県		郡 市		町 村		番 地				
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地番	地目 登記簿	現況	面積 m <sup>2</sup>	利用状況	10aあたり 普通収穫高	耕作者の 氏 名	市街化区域・市街化調整 区域・その他の区域の別		
	郡 市	町 村									
	計		m <sup>2</sup> (田		m <sup>2</sup> 畑		m <sup>2</sup> )				
3 転用計画	(1) 転用事由の詳細		用 途		事由の詳細						
	(2) 事業の操業期間 又は施設の利用期間		年 月 日から 年間								
	(3) 転用の時期及び 転用の目的に係る 事業又は施設の 概要	工事計画		第1期 (着工年月日から年月日まで)				第2期		合 計	
			名 称	棟 数	建築面積	所要面積			棟 数	建築面積	所要面積
		土地造成				m <sup>2</sup>					m <sup>2</sup>
		建 築 物				m <sup>2</sup>					m <sup>2</sup>
		小 計									
工 作 物											
小 計											
計											
4 資金調達についての計画											
5 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要											
6 その他参考となるべき事項											

(記載要領)

- 申請者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容をそれぞれ記載してください。
- 「利用状況」欄には、田にあつては二毛作又は一毛作の別、畑にあつては、普通畑、果樹園、桑園、茶園、牧草畑又はその他の別を記載してください。
- 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請に係る土地が都市計画法による市街化区域、市街化調整区域又はこれら以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
- 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6か月単位で区分して記載してください。
- 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときは、その旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

石川県知事 殿

令和〇〇年〇〇月〇〇日

申請者 氏名 〇〇 〇〇

下記のとおり農地を転用したいので、農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

記

1 申請者の住所等	住 所								職 業		
	石川	都道府県	河北	郡市	内灘	町村	字〇〇	番地	農業		
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地番	地目	登記簿	現況	面積	利用状況	10a 当たり普通収穫高	耕作者の氏名	市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別	
	河北市内灘町〇〇	〇〇	畑	畑	300 m <sup>2</sup>	畑	480kg	〇〇 〇〇	市街化調整区域		
	計		300 m <sup>2</sup> (田			m <sup>2</sup> 畑		300 m <sup>2</sup> )			
3 転用計画	(1) 転用事由の詳細		用 途		事由の詳細						
			農機具収納施設用地		大型機械整備のため						
	(2) 事業の操業期間又は施設の利用期間		令和〇〇年 〇〇 月 〇〇 日から 永久 年間								
	(3) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画	第1期 (着工令和●年○月○日から令和●年×月×日まで)				第2期		合 計		
			名称	棟数	建築面積	所要面積			棟数	建築面積	所要面積
		土地造成			330 m <sup>2</sup>					330 m <sup>2</sup>	
		建築物	木造2階住宅	1棟	130 m <sup>2</sup>			1	130 m <sup>2</sup>		
小計				130	330						
計			1棟	130	330			1	130	330	
4 資金調達についての計画	①自己資金 1,500万円、②借入金 2,000万円										
5 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防止施設の概要	排水は公共下水道に排水し、被害の内容にする。										
6 その他参考となるべき事項											

(記載要領)

- 申請者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容をそれぞれ記載してください。
- 「利用状況」欄には、田にあっては二毛作又は一毛作の別、畑にあっては、普通畑、果樹園、桑園、茶園、牧草畑又はその他の別を記載してください。
- 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請に係る土地が都市計画法による市街化区域、市街化調整区域又はこれら以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
- 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6か月単位で区分して記載してください。
- 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときは、その旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。